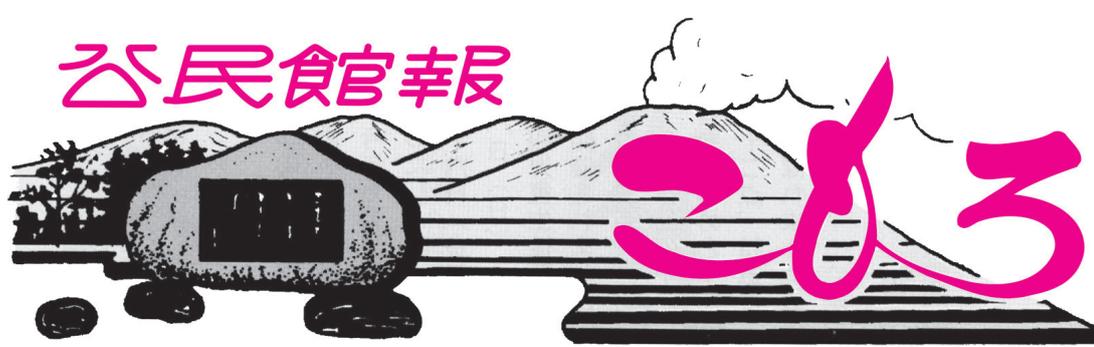


発行 / 小諸市公民館  
 編集 / 館報編集委員会  
 〒 384-0801  
 長野県小諸市甲 1275-2  
 TEL 0267-23-8880  
 FAX 0267-25-2224



11/23(水・祝)開催 小諸市文化会館自主事業

### 『アニソン BIG 3 スーパーライブ 2022』

水木一郎さん、堀江美都子さん、影山ヒロノブさんのBIG3に加え、特別ゲストの遠藤正明さんの4人による熱いステージが繰り広げられました。全国から集まったファンの皆さんは、懐かしいアニメソングと絶妙なトークを存分に楽しまれたようです。

途中、水木一郎さんに小泉市長から表彰状が手渡され、その後、市長も一緒に『こもろドカンショ』を歌う場面もありました。

令和4年12月6日、小諸市に多大な貢献をされた水木一郎さんが、肺がんのためご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

#### ❖内容

- p.24 新年のご挨拶
- p.25 「ぼくとわたしの作品」(坂の上小学校)
- p.26 「みんなの宝物」(御影区 木曾茂)

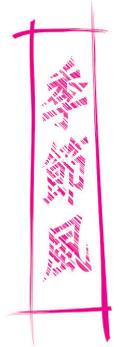
- p.27 「今支館・分館では」(南ヶ原分館)
- 「俳句・短歌」(小諸俳句会 / 土笛小諸短歌会)
- p.28 1月小諸市文化会館スケジュールほか
- p.29 「わたしの宝物」(糠地区 小田中衛)



カラー版はこちら

新年あけましておめでとう  
 ございます。皆様のご多幸を  
 お祈り申し上げます。  
 お正月はのんびり過ごし、  
 遠く離れている友人の年賀状  
 を楽しみにしています。また  
 地元の神社に参拝し、パワ  
 スポットで有名な神社・仏閣  
 にも初詣に出掛けます。  
 我が家には乗鉄・撮鉄の鉄  
 道好きがいます。「青春18切  
 符」などを利用して全国を旅  
 行しています。時々一緒に出  
 掛けますが、3年前には羽越  
 線で山形県酒田市や小海線経  
 由で山梨県身延町へ、昨年は  
 福島県只見町に行つて来まし  
 た。只見線は平成23年夏の災  
 害で一部不通となり、昨年10  
 月に全線開通したので乗車し  
 てきました。地元の皆さんは、  
 イベントなどを開催し多く  
 の人を歓迎してくださいまし  
 た。  
 今年も家族と列車の旅に出  
 掛けたいものです。新型コロナ  
 ナの収束、戦争のない平和な  
 一年でありますよう祈るば  
 りです。

編集委員 大矢 文子



# 謹賀新年



「新春を迎えて」  
小諸市教育長 山下 千鶴子



新年あけましておめでとう  
ございます。

旧年中は、公民館活動へのご協力ありがとうございました。コロナ感染防止のための対策も日常化して、早3年余。今年こそマスクなしの生活が待たれます。  
昨年とは地球環境を考える幾つもの機会に恵まれました。まずは7月にJAXA油井亀美也宇宙飛行士の講演会がありました。宇宙から見た地球は空気の層が薄く感じられ、地球環境の悪化は一目瞭然と語られました。

11月には天文同好会「流天」の皆様による星空観望会「皆既月食を観測しよう」を開催。多くの天文愛好家たちが赤銅色の月の美しさに魅了されました。天王星食も重なり注目を浴びました。次に惑星食を伴う月食は422年後、それまで地球は持ち堪えられるでしょうか。

続いて「異常気象と天気予報」と題して日本気象協会の谷口聡一気象予報士から、日頃の気象情報への向き合い方を伝授していただきました。温室効果ガスの増加、地球温暖化、異常気象と聞く度に地球の将来が心配になります。

水明小学校の2年生がソルガムを栽培していると聞きまし



公民館講座小諸市星空観望会の様子

た。気候変動の激しい昨今、暑さや乾燥に強い小麦の品種とのこと。幾多の品種改良は今後の食糧危機に力を貸してくれることでしょう。エコバッグやマイボトル持参の生活も温室効果ガス排出量を減らす一助になりそうです。  
「一年の計は元日にあり」です。地球環境を考え守る地球人でありたいと思います。

「公民館のつどいから」  
小諸市公民館長 内堀 浩宣

新年あけましておめでとう  
ございます。

旧年中は、公民館をはじめ文化センターの諸事業に対し、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

引いては寄せる新型コロナウィルス感染症の波に翻弄され3年になります。トンネルの向こうに光が見えてきたかなと思うと、次の波がやって来て、いったいいつまで続くのか。早い収束を願うばかりです。

感染防止対策を徹底し、段々と公民館活動も再開されつつありますが、行事の中止などを余儀なくされ、公民館活動の原動力である「集う」ことが満足にできず、活動が停滞してしまっている公民館も多いのではないのでしょうか。

そんな中で昨年9月下旬、長野県公民館大会が3年ぶりに集う形で開催され、開会式で「公民館の歌」が流れました。戦後間もない昭和22年に歌詞を全国公募して作られた曲ですが、今なお各種大会において歌われ続けています。  
コロナ禍や戦争・争いの続

く今、改めていい歌だなと感じ紹介します。

公民館の歌(自由の朝)

山口晋一 作詞  
下総隆一 作曲

- 1、平和の春に あたらしく 郷土を興す よろこびも 公民館の つどいから とけあう心 なごやかに 自由の朝を たたえよう

- 2、心の花の におやかに 郷土にひらく ゆかしさも 公民館の つどいから 希望を胸に 美しい 文化の泉 くみとろう

- 3、働くものの 安らかに 郷土に生きる たのしきも 公民館の つどいから まどいになごむ ひとときに 明日への力 育てよう

トンネルの向こうにコロナも戦争も収まり平和な日々が待っていること。公民館のつどいが明日への力となっていくそんな一年になることを祈ります。  
生きがいづくりと地域づくりのため、本年も市民の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いたします。



# 坂の上小学校



## 「こかげからのぞむ思い出」

5年1組 福田 小晴

わたし達は、思い出に残る場所を絵に描きました。わたしが描いたのは学校の玄関です。毎朝登校するときに見ているので、心に残る場所として選びました。

わたしがこだわったのは、玄関前にあるこかげです。このこかげから見る涼しい感じを表したくて、葉っぱの色を変えたり、校舎の色に青を混ぜたりしました。絵の一部では、何度も何度も塗り重ねて出したい色に近づくようにしました。なかなか思うようにいかずに大変だった部分でもあります。

授業のテーマが、遠近感・立体感だったので、立体感が

増すように、実際に目で見たよりも深い色や濃い色を使うようにしています。特にうまくいったのは、カーテンの影の部分です。

今回はじっくり取り組むために、絵を家に持ち帰り時間をかけて取り組みました。それでももっと時間をかけてこだわりたい気持ちもありました。

この絵を描いて坂の上小学校のみりよくに改めて気付きました。他にも校内のすてきな場所を見つけたいと思います。また県の作品展で賞をいただけたことも自信につながりました。次の作品にも今回の経験を生かしていきたいと思います。



## 「秋の光と銅像」

5年2組 種田 凷

わたし達は図工で『学校の中で好きな場所』の絵をかきました。わたしは、昇降口の銅像ともみじをかきました。その場所にした理由は、景色もいいし太陽の光もきれいで、好きな遊び場だったからです。

一番こだわった場所は、銅像の色です。少しさびて緑っぽく見えた部分や、ひじやひざの部分がわかるようにかきました。日が当たってかげができているところも意識しました。

難しかったところは銅像の表情をかくことと色ぬりです。銅像の表情を少しうれし

そうに見せるのが苦労しました。私は絵をかくことが好きなのですが、ふだん色ぬりまではあまりやらないため、最初色をぬったときはすごく不安でした。でも最後までがんばったおかげできれいにぬることができました。今までで一番自信のある絵がかけました。

友達の作品を見ると、葉っぱの色を一枚ずつ変えていたり、影が本物のように見えたりと色の使い方すごいと思うものがたくさんありました。

六年生の図工では、特に色の使い方を工夫して絵をかきたいです。



# みんなの宝物



「御影用水を知ろう」  
御影用水・陣屋応援隊

御影区 木曾 茂



**今**年の夏は、温暖化の兆しなのか暑い日が続き、炎天下での作業はとてつらかったと記憶しております。そう思っていたのもつかの間、10月初めには涼すぎる気候がありました。

そのためか今年の紅葉は一段と見事な気がします。雨が多かったものの台風の影響もなく先日まで黄金色の稲穂がまぶしいくらいでした。浅間山系を背景にした御影新田は、立ちそろうた黄金色の海原がいつになく美しいと感じられました。  
この稲穂も軽井沢の千ヶ滝

と白糸の滝を水源とする御影用水があればこそその自然からの贈り物なのでしょう。

この御影用水は今から350年以上前の江戸時代の始め、1648年（慶安元年）に、小諸の柏木小右衛門が小諸藩に願い出て工事が始まりました。まず軽井沢千ヶ滝を水源とする溪流から里池付近で取水し、「上堰」全長7里（28km）の水路を開削しました。途中軽石が多く水漏れが



御影新田の田園風景



御影用水温水路

激しかったため、小右衛門の妻が真綿を使って漏水防止を進言したという言い伝えがある「綿埋」（わとうづみ）という造りの箇所もありました。上堰の漏水が激しかったため、平行して「下堰」の工事が始められました。こちらは、白糸の滝を水源とする湯川の上流獅子岩付近の右岸で取水し、肘折沢など深い谷を等高線に沿って開削された全長9里（36km）の水路で、上堰完成から2年後、1652年に完成しました。この用水により約500haの農地が拓かれ、御影新田と呼ばれました。荒地から優良農地となったため、後に幕府の天領となりました。



天領の里・御影用水史料館

御影陣屋跡は長野県指定史跡として歴史的に貴重な史跡であり、御影用水はこれに加え将来に亘つての利水のための遺産として保全していくことが重要です。このため私たちは、この大切な遺産を市民の皆様方に理解していただくと共に、流域の軽井沢町、御代田町、佐久市の方々にも協力していただかなければならないと考えました。幸い長野県の地域発元気づくり支援金事業にも選んでいただき事業を進めています。

小諸市教育委員会の協力も得て市立「天領の里御影用水史料館」を拠点に①パンフレット、リーフレットの作

製、配布、②案内看板の設置、③プロモーションビデオの制作、④講演会の開催や歴史井戸端会議、などの事業を進めています。

また、用水開発から陣屋統治の頃始まったとされる県の無形民俗文化財「御影道祖神祭り」は、同世話人会が伝承してまいります。発展著しいこの地域の歴史と文化、未来を御影用水・陣屋応援隊の活動を通じて輝かせたいと思います。

※御影用水・陣屋応援隊では一緒に活動する隊員を募集しています。

加入申込・問合せ先

電話 (FAX) : 0267-25-1210

Email : mikage@ctknet.ne.jp



ホームページ

※これは令和4年11月に書かれたものです。

# 今支館・分館では

「ふれあいカラオケ教室」

—南ヶ原分館—



今回、小諸市で最も浅間山に近い標高約1,000mに位置する南ヶ原区で、カラオケ教室を楽しんでいる皆さん取材しました。

講師は、FM佐久平、月曜8時40分「KING SONG」出演の歌手の諏訪ひろみさん。上田市や御代田町の公民館活動で歌謡教室をしている

方です。

南ヶ原教室は、まとめ役の片山毅さんが、区の役員や民生児童委員をしていた時から、介護予防教室を開催し、高齢者の交流の場を必要と感じていたことと、講師の諏訪さんが、多肉植物が好きで南ヶ原区の『錦玉園』に通っていた縁で、歌を教えてもらえたらと声を掛けたのが発端で、7年位続いています。

当日は、会場の南ヶ原集会所に他の区からの参加者も含め7名が集まり、いよいよ「ふれあいカラオケ教室」の始まりです。特殊詐欺の情報などが気付けば一時間雑談、なかなか歌が始まりません。しかしこれがいつもの交流の風景。歌は後半集中型だそうです。肌寒い日でしたが、全ての窓を開け、扇風機2台をフル稼働。マイクや備品の消耗も念入りです。途中で参加者がマイクで歌う時も、消毒液噴霧、拭き取りします。一曲を3回位で仕上げていくペースで、今回で53曲目です。

まず、前回の曲『酔中花』を全員で復習。新しい曲は、中村美津子さんの『銀の雨』。歌手の紹介や歌詞の説明、原曲を聴いてから、歌詞と譜面を見ながら歌います。さすが歌の先生、ポイントを説明しながら、「出だしはな、や、はハッキリと、ココは軽くね、ハイいいですよ。」とよく通るかわいい声で部屋中に広がる。前半と違い皆さん真剣な表情でメロをしながら歌っています。先生の明るさと参加者の前向きさで、和やかな雰囲気のカラオケ教室です。



編集委員 小坂 敏明

## 俳句

小諸俳句会

- 身のどこかふいに痛むよ 枳殻の実 石田 経治
- 冬の雷憲法九条前のめり 塩川 正
- 草の実に好かれし時の定まらず 木村 さとみ
- 風の道秋の田を薙ぎ倒しけり 工藤 貢
- この朝を譲りはせぬと 鴟の声 青木 順子
- 人の子百人およがす 桜もみぢかな 国見 敏子

## 短歌

土笛小諸短歌会

- 卒業式の着物ハカマに髪かざり 柳沢 つる子
- 胸いっぱい透明の気を吸い込んで 今日が始まる朝のゴミ出し 田中 邦
- 大空に向かいて咲きしひまわりが 皆首おりて地をみつめおる 田中 美津江
- 散歩する空いちめんの鱗雲 茜に変わり写メールゆき交う 井出 宣子
- 三十センチ伸ばした髪をコロナ禍に 病の子等のかつらに寄付す 小林 りつ子
- 満開のヤエベニシダレの花の中 紅い打掛青い目の女 松村 泰子

## 締切間近!! 第29回小諸・藤村文学賞 《作品募集》

- 【作品内容】エッセイ(随筆)に限る(小諸や藤村に関わりがなくてもよい)  
 【募集対象】一般の部  
 【入選作品】・最優秀賞:1名/優秀賞:2名/佳作:若干名/市長賞(小諸市民の作品が対象):1名  
 【応募方法】・一般の部:原稿用紙10枚程度(上限11枚)  
 (400字詰め原稿用紙A4判又はB4判縦書き※鉛筆不可)  
 ※原稿用紙右側余白に縦書きで「郵便番号・現住所」次の行に「氏名(フリガナ)・年齢・電話番号」を明記  
 ・応募作品は1人1編で、未発表の作品に限る  
 ※入賞作品著作権は、主催者「小諸市」に帰属し、応募作品の返却はいたしません。  
 【賞状・賞金】賞状及び副賞(賞金)※市長賞は賞状のみ  
 【締切日】令和5年1月31日(火)(当日消印有効)

### ▼作品送付先及び問合せ先

〒384-8501 長野県小諸市相生町三丁目3番3号 小諸市教育委員会「小諸・藤村文学賞」事務局宛  
 TEL 0267-22-1700(内線2281) / FAX 0267-23-8857



— みなさんの音楽活動を支援します —

## 音楽のまち・こもろ推進協力団体 募集

音楽のまち・こもろ

小諸市は音楽があふれるまちをめざしています。そこで「音楽のまち・こもろ推進協力団体」を募集します。  
 認定団体が「音楽のまち・こもろ」の冠を付した演奏会を、下記会場で開催する場合、その施設使用料(※)が免除となります。

### 【対象施設】

- ・小諸市文化センター(文化会館ホール)、小諸市市民交流センター(ステラホール)  
 ※施設使用料は全額免除。(入場料有料の場合は50%減免)ただし、冷暖房費や備品使用料はご負担いただきます。

### 【推進協力団体の認定要件】(一部抜粋)

- 1 音楽のまち・こもろの推進に寄与する活動を行う、自発的な市民の活動団体であること
- 2 次の実態を備えた団体であること
  - ①会則があること
  - ②団体の意思を決定できる組織が確立していること
  - ③会計機能を有すること
  - ④団体活動の拠点として市内に事務所(自宅でも可)を有すること
- 3 営利事業、政治活動及び宗教活動を行う団体でないこと
- 4 活動している会員が5名以上いること
- 5 各施設の利用規約及び関係する法令を守って活動すること

▶申込 所定の様式を令和5年1月31日(火)までに教育委員会文化財・生涯学習課までご提出ください。  
 (様式は、文化財・生涯学習課窓口のほか、小諸市のホームページからも入手可)

☎ 教育委員会 文化財・生涯学習課 ☎ 0267-22-1700

## 第58回 児童生徒新年書初め展 1月小諸市文化会館スケジュール

市内に居住する児童生徒、市内の学校・書道塾へ通う児童生徒の新年への希望や決意を込めて書いた作品を展示します。

- 【開催日】 令和5年2月3日(金)～5日(日)  
 【時間】 9:00～17:00(最終日は16:00まで)  
 【会場】 乙女湖体育館(小諸市文化センター内)



☎ 児童生徒新年書初め展事務局(小諸市文化センター内) ☎ 0267-23-8880

日付	開演	イベント	主催者	問合せ先
3(火)	11:00 15:00	令和4年小諸市成人式 令和5年20歳を祝う会	小諸市 文化財・生涯学習課	0267-22-1700
18(水)	9:00	学習成果発表会(予定)	小諸商業高等学校	0267-22-0103
21(土)	13:00	JA 佐久浅間役職員大会	JA 佐久浅間	0267-68-1113
28(土)	13:00	細川たかし 長山洋子 ～ふたりのビッグショー～	(株)夢グループ	0570-666-443

### 各施設の予約開始日

施設名	利用月	予約開始日
公民館・こもろ女性の家 (貸出備品含む)	令和5年3月	令和5年1月4日(火)
乙女湖体育館	令和5年7月	
文化会館	令和6年1月	

# わたしの宝物

No.7



「自宅周辺からの絶景と

雲海の美しさに感動」

糠地区 小田中 衛



**私**の宝物は、自宅周辺から眺める自然の景色で、これは糠地区皆の宝物でもあると思っています。

糠地区は、標高800mから1,100mの浅間山麓南斜面に位置しています。市街地と比較し、冬の寒さは幾分厳しいものの、夏は特に涼しく、昭和の時代には学生村として都内の学生などで賑わいを見せた時期もありました。

標高を利用し、リンゴなどの果樹栽培が盛んな地でもありません。最近では、年間を通して降水量が少なく日照時間が長いこと、昼夜の寒暖差が大きく風通しが良いことから、千曲川ワインバレー東地区として荒廃地を

利用したワイン用のブドウ作りが盛んです。ワイナリー

も併設され、将来は魅力的なワイン産地として発展することを期待しています。

また、蝶の「アサギマダラの里」として保護活動でも注目されています。

眼下には小諸市街地やその先に佐久平を望み、西方には、鉄道の斜張橋としては、国内に2本しかないうちの1つ、千曲川に架かる北陸新幹線のハープ橋まで見え、更にその上部には



雪に覆われた初冬の北アルプス連山

美ヶ原と立ち並ぶテレビ塔群、その右手に白銀に輝く北アルプス連山を一望することができます。特に槍ヶ岳は突き出した穂先が見事に見えます。

自宅の正面に蓼科山、霧ヶ峰、八ヶ岳連峰が連なり、その山裾の奥には、直線距離にして110km程先に一面雪で覆われた霊峰富士を望むことができます。

北には煙たなびく浅間山も見え、日本百名山のうち、約十座がぐるっと見渡せます。夜は、夜景も見事で、夏は野沢や望月の花火、そして冬は澄み切った満天の星空も楽しむことができます。

また、蓼科山より左側の山腹には、小惑星探査機「はやぶさ2」を追跡し続けた宇宙航空研究開発機構（JAXA）美笹深宇宙探査用地上局の直径54mの白いパラボラアンテナもはつきり肉眼で捉えることができます。

## 「幻想的な雲海に酔いしれる」

**そ**して、圧巻は年に数回早朝に発生する神秘的で幻想的な雲海です。その現象は、小諸市街地から佐久平、そして千曲川沿いに塩田平方面まで海のように一面に広がり、その先には富士山や八ヶ岳などの山々が島の様に浮かんで見えます。

雲海は水蒸気の量と気候の変化が重なった時に早朝から出やすく、浅間サンライズより標高の高い場所で見えることが多いようです。

令和2年1月に自宅から見た雲海が雄大で美しかったため、撮影し、県内のテレビ局に投稿。その写真が採用され、多くの方々に幻想的な景色を見ていただくことができました。時には、その美しさと感動を求め、わざわざ写真を撮りに来る方もいます。

幼い頃、両親に手を引かれ眺めた山里の景色は、地元の人たちの努力により、今も四季折々の美しい姿を見せてくれています。

この自然の美しさがかけがえのない大切なものとして、子どもや孫、そして幾世代まで変わりなく豊かなままあり続けることを願っています。

